

ウィキペディアに参加して  
あるいは  
コミュニティ周縁からの眺望  
(凡庸なる独自研究の試み)

2010.11.14.

山田晴通

yamada@tku.ac.jp

# 山田晴通は何ではないか

- 山田晴康ではありません

# 山田晴通は何ではないか

- いわゆるギークではありません
- SNS には参加していません
- Blog も Twitter も事実上やっていません
- コピーレフト主義者ではありません
- （記名をうっかり忘れた場合以外は）匿名や捨てハンドルでの書き込みをする者ではありません

# 私とウィキペディア

- ウィキペディアの存在を強く意識したのは、自分の項目がある（2007年5月～）と気づいたことがきっかけ
- やがてレポートの剽窃元として接する機会が増えた...検索機能の活用は以前から  
岡本さん曰く「ググってウィキを見る」
- 2009年4月から編集を始める

# なぜルールが必要なのか

- システム（秩序）として機能している/  
機能し得るものが、カオス（混沌）に  
陥らないため
- カオスを招く虞れがある過剰なルール  
は要らない

# なぜルールが必要なのか

- 「ウィキペディアは○○ではありません」と宣言する必要があるのは、放置すれば「○○」になる、あるいは、本来「○○」であるから
- ウィキペディアの本質 nature は「ではない」と宣言されているところにある

# Wikipedia:ウィキペディアは何ではないか



この文書はウィキペディア日本語版の**公式な方針**です。多くの利用者に支持されており、すべての利用者が従うべきだと考えられています。必要に応じて編集することは可能ですが、その変更はコミュニティの合意を反映している必要があります。大きな変更を加える場合は、先に**ノートページ**で提案してください。

ウィキペディアはオンライン**百科事典**であり、また、それを実現するために、互いに尊重しあう精神の下で高品質の百科事典を作成しようとする人々のオンラインコミュニティです<sup>[1]</sup>。したがって、ウィキペディアは決して以下のようなものではありません。

なお、**この方針を満たせば何でもウィキペディアに記載してよいわけではありません**。記事は、この方針以外にも、内容に関する各方針、特に**五本の柱**で示されている方針に適うものでなければなりません。

## 目次 [非表示]

### 1 スタイルと体裁

#### 1.1 ウィキペディアは紙製の百科事典ではありません

### 2 内容

#### 2.1 ウィキペディアは辞書ではありません

## 目次 [非表示]

### 1 スタイルと体裁

1.1 ウィキペディアは紙製の百科事典ではありません

### 2 内容

2.1 ウィキペディアは辞書ではありません

2.2 ウィキペディアは独自の考えを発表する場ではありません

2.3 ウィキペディアは演説台ではありません

2.4 ウィキペディアはリンク、画像、メディアファイルのミラーサイトや保管場所ではありません

2.5 ウィキペディアはブログ、ウェブスペース、ソーシャルネットワーク、追悼サイトではありません

2.6 ウィキペディアは名鑑ではありません

2.7 ウィキペディアはマニュアル、ガイドブック、教科書、学術雑誌ではありません

2.8 ウィキペディアは未来を予測する場ではありません

2.9 ウィキペディアは情報を無差別に収集する場ではありません

2.10 ウィキペディアでは検閲は行われません

### 3 コミュニティ

3.1 ウィキペディアは多数決主義ではありません

3.2 ウィキペディアは規則主義ではありません

3.3 ウィキペディアは戦場ではありません

3.4 ウィキペディアは無法地帯ではありません

### 4 最後に

### 5 疑問に思ったときは

### 6 関連項目

# ウィキペディアの流儀

- アンサイクロペディアの項目「ウィキペディアン」の記述

- ウィキペディアンはイングソックの体現者でもある。彼らは戦争は平和である（編集合戦、リバート合戦を行うことによってウィキペディアが平和になると思っている）、自由は屈従である（アンチ・アンサイクロペディア）、無知は力である（要出典を貼りまくるくせに、自分では絶対に調べようとしない）という信念に基づいて行動している。

## ネチペディアン

[編集]

ネチペディアンとは、恐ろしいまでのネチっこさを持ち合わせているどうしようもない**ウィキペディアン**の事である。ウィキペディアに長く居座っているうちに、粘着質、ストーカー体質、ユーモア欠落症、ウィキペディア中毒などといった恐ろしい効用が現れるようになり、その結果ネチペディアンへと化するのだ。

ネチペディアンは非常に狭い範囲の記事にしがみ付いている**お山の大将**である。自分の知識を書き足すだけならともかく、取り仕切っている**つもり**になっている範囲の記事にちょっと気合の入った新入りが現れると、執拗なサイバーストーキングを開始し、新入りユーザーが折角書いてくれた記事に山ほど**要出典**を貼り付けたり、コメントアウトで難癖をつけたりするような失礼なマネを平気で行う。

それで大概の新入りユーザーは嫌気が差して、以後記事を加筆しようとしなくなる。ネチペディアンは自分が手を付けた記事は全て我が物であると信じ込んでおり、膨大な数の記事をウォッチリストに登録して巡回を行い、少しでも気に入らない改変があるともっともらしい理由（個人的主観・個人的見解）をつけてリポートを行う。時にはリポートのたびに、閲覧者に「相手の方が荒らしである」という印象を与えるような主観コメントを書き込んでレッテル貼りしようとするなど、実社会であれば**犯罪**スレスレの事さえ平気でやってのける。その行為が**荒らし**に対する正義の行為だと信じてやまない彼らだが、自分のやっている事が荒らしと変わらないということに気付いていない。ただしネチペディアンのほとんどは**対人恐怖症**であり、実社会で人と目を合わせただもってしまって物も言えないような、いわゆる**ネット弁慶**タイプの者が多い。

ウィキペディアでの**マイク・タイソン**の記事では、「マイク・タイソン語録」という、折角長きに渡って色々な人が書き寄せてくれた、約1万バイト以上にも及ぶ、折角の大変面白い貴重な情報の数々がある日見たら丸々無くなっていた。こ



# ウィキペディアの流儀

- 言いつぱなしの文化  
    掲示板、Twitter、 etc.
- 押しの強さの文化  
    決裁者不在の空間
- 様々な局面で、時間を割ける量がクリティカルになる

# 新参者としての対処

- 戦わない...平身低頭
- 問いかけ...ほとんど応答はない
- 放置...だが、書かれる立場が絡むと難しい
- 踏み越し...思わず、から、一步踏み込む

# アカデミズムとの連携？

- 定説の記述はアカデミズムの仕事ではない（少なくとも、中心的な仕事ではない） 中心は＜独自研究＞
- 仮説の提起、事実の検証、解釈と相互批判が仕事のほとんどを占めている
  - 定説の記述作業は評価されない（代表者にでもならない限り）

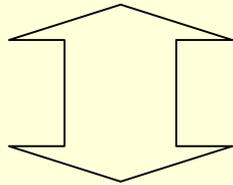
# アカデミズムとの連携？

- 定説の記述は、ウィキペディアのように普段に変化する記述媒体にはなじまない
- むしろ、〈独自研究〉を揉む場としての可能性...匿名／顕名？

...いずれも林さんに先に言われました

# 民主主義と裁定者の不在

- アカデミズムにおける「裁定者」としての学会組織の権威/権力



- ウィキペディアの民主主義  
匿名/無責任な声を排除しにくい  
(もちろん、良い点もある)

# 民主主義と裁定者の不在

- 民主主義的に合意形成を目指せば、相当に大きな時間とエネルギーの投入が必要
- 個人の人生/生活のどの部分を民主主義的に処理するかは、個人の選択
- ウィキペディアへ情熱を傾けられるのはどういう人か？



アカデミズムとの連携

.....かなり大きな疑問符が...

# 周縁からのひとつの眺望

- とりあえず、縁あってウィキペディアの周縁にたどり着いた者にやさしいコミュニティであってほしいが、それが叶わないことを理解した上で関わる必要があるそう
- アカデミズムとは、かなり異なる世界としてのWikipediaコミュニティ

# おまけ：取り組みへのやぶ眺み

- アカデミズムの立場からの評価の仕組みは設けられるか ？
- 実名文化と匿名性
- 責任を回避する便法としての「学生」による執筆・編集の奨励 ？